

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	1
施策の方向性	1	生活困窮への対応	担当課	生活援護課	
取組	生活保護の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			DV被害者の経済状況を聞き取り、安全確保・心理支援・制度調整を同時に進めながら、生活保護申請の意思を確認した上で、必要に応じ申請支援を行った。		
今後の課題			制度に対する誤解や偏見を持つ人も少なくないのが現状。 支援する側が、制度の意義を正しく理解し、困窮した人々が安心して相談できる環境をつくることが求められる。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	172
事業コード	49	住まい、就労などの経済的支援	担当課	生活援護課	
主な具体的事業	必要に応じた生活保護の申請支援				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	2
施策の方向性	2	生活困窮への対応	担当課	地域福祉推進課	
取組	自立相談支援事業による相談、プランの作成				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			市直営と社会福祉協議会への委託による自立相談事業は、地域で様々な困難を抱える方々の暮らしを支えるため個々の状況に応じた支援プランを作成し、自立に向けた包括的、継続的な支援やサービスの利用調整を行った。 [相談件数] ・市直営 1026件 ・社会福祉協議会委託 799件		
今後の課題			社会情勢の変化の影響もあり、相談者の課題が複雑化、多様化してきている。引き続き関係機関と連携しながら課題を整理し、生活状況の改善に向け支援を行っていく必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	227
事業コード	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	地域福祉推進課	
主な具体的事業	自立相談支援事業の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	3
施策の方向性	2	生活困窮への対応	担当課	地域福祉推進課	
取組	就労準備支援事業				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			長期離職やひきこもりなどにより早期一般就労が難しい方に対し、生活リズムの見直し、人間関係の構築、社会活動への参加をなどを通じて就労に必要な技能の習得をサポートすることで、就労に結びつくよう支援を行った。 [支援件数] 36件 ・就労に結び付いた件数 16件 ・ボランティア体験延べ 106 件		
今後の課題			CSW、ささえあいセンターをはじめ、地域に根差した多機関との連携を深め、ニーズの発掘から居場所づくり、アフターフォロー体制を拡充していく必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	228
事業コード	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	地域福祉推進課	
主な具体的事業	就労準備支援事業の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援				通番	4
施策の方向性	2	生活困窮への対応	担当課	地域福祉推進課		
取組	家計改善支援事業					
変更事項						
年度	-		令和7年度			
取組実績			一時的な金銭給付や貸付による困窮状態の解消を図るのではなく、家計収支全体の改善を図り、最終的には健全な家計状態を取り戻しその管理を自己の力で行うことができるよう、家計診断及び伴走的な相談支援を行う。 支援件数：30 件 支援終結：2件			
今後の課題			家計改善支援事業の利用をきっかけとして複合的な課題が見える場合も多いため、関係機関と連携しながら支援を行っていく必要がある。			
女性支援会議からの意見						
取組の評価						
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業					通番	229
事業コード	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	地域福祉推進課		
主な具体的事業	家計改善支援事業の実施					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	5
施策の方向性	2	生活困窮への対応	担当課	地域福祉推進課	
取組	子どもの学習・生活支援事業				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			<p>市内4か所(六会、鵜沼、湘南大庭、御所見地区)で生活困窮世帯の子どもを対象とし、基礎学力の向上のための学習支援や学習の場所・機会の提供などを通じて子どもの社会的自立を促すとともに、子どもとの関りを通じて家庭が抱える生活課題に対しても支援を行っていった。</p> <p>登録件数合計:184件 利用した中学3年生31名が高校に合格</p>		
今後の課題			<p>子ども自身の課題だけでなく、世帯が抱える複合的な課題が障壁になり、利用の定着に至らない場合もある。また、事業を必要としている子どもや家庭に対し、更なる事業周知を行う必要がある。</p>		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	
事業コード			担当課		
主な具体的事業	掲載なし				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援				通番	6
施策の方向性	2	生活の安定に向けた取組の推進	担当課	産業労働課		
取組	女性向けの就労支援セミナー・キャリアカウンセリング等の実施					
変更事項						
年度	-			令和7年度		
取組実績				ふじさわ女性デジタル事務人材活躍推進事業として、女性のITスキル向上と就労を一体的に支援を行った。 ・プレセミナー6/14開催18人参加 ・実践セミナー10/25～11/29開催(対面2回、オンライン4回、自習会3回)延べ163人参加 ・就職面接会12/3開催19人参加 ・就職者数 3人		
今後の課題				セミナー参加者の募集について、効果的な周知方法を検討していきたい。 また、就職者数を増やすための支援策等について、効果的な方法を委託事業者とともに協議していきたい。		
女性支援会議からの意見						
取組の評価						
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業					通番	46 47
事業コード	17	女性のキャリア形成支援	担当課	産業労働課		
主な具体的事業	女性向けセミナーの開催 キャリアカウンセリングの実施					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	7
施策の方向性	2	生活の安定に向けた取組の推進	担当課	産業労働課	
取組	湘南合同就職面接会などの就職マッチング機会の提供				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			湘南合同就職面接会を実施し、女性の就労支援に努めた。 ・実施日 1月28日 ・参加者数 128人 ・採用決定者 13人		
今後の課題			引き続き、他市町やハローワーク藤沢と連携を行い、求職者、求人者双方にとって効果的な手法の検討。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	52
事業コード	18	女性の雇用・就労機会の促進	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	湘南合同就職説明会の開催				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	8
施策の方向性	2	生活の安定に向けた取組の推進	担当課	地域福祉推進課	
取組	女性の福祉の視点に立った施策の充実と包括的な支援の推進				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			地域で様々な困難を抱える方々の暮らしを支えるため個々の状況に応じた支援プランを作成し、関係機関と連携しながら自立に向けた包括的、継続的な支援やサービスの調整を行った。		
今後の課題			女性からの相談が複雑化・複合化してきている。適切な部署等へ円滑につながることができるよう、必要に応じて協働で支援できるよう連携を深めていく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	227
事業コード	58	生活に困難がある人々への支援	担当課	地域福祉推進課	
主な具体的事業	自立相談支援事業の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	9
施策の方向性	3	ひとり親家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
取組	母子・父子自立支援員等によるひとり親家庭相談の実施				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			母子・父子自立支援員等がひとり親家庭の悩み・問題の聞き取りを行い、必要に応じて動向や訪問を行うことで問題解決に必要な情報提供および課題の整理を行い、問題解決に努めた。 ・相談件数 延べ 5, 285件		
今後の課題			法改正やDVなどによる支援知識の定着や情報更新を行い、相談者に寄り添いながら自立に向けた相談支援の充実に努める。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	221
事業コード	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	母子・父子自立支援員によるひとり親家庭相談の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	10
施策の方向性	3	ひとり親家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
取組	女性相談支援員との連携				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			母子・父子自立支援員は離婚を検討している方からの相談も受けており、相談の中でDV等で専門的な支援が必要であると判断した場合、本人同意のもと、女性相談員と連携を図り、問題解決に努めた。 また、女性相談員からも避難してきた母子世帯に必要な支援を依頼されており、互いに連携を図りながら相談世帯の生活の安定に努めた。		
今後の課題			女性相談員の立場や制約を理解し、「つなぐ」ではなく「連携」の意味や「誰のための連携なのか」を常に考え支援に努める。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	
事業コード			担当課		
主な具体的事業	掲載なし				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	11
施策の方向性	3	ひとり親家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
取組	児童扶養手当の支給				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			父又は母と生計を同じくしていない18歳に達する日以後、最初の3月31日までの児童を監護している母、父又は養育者の所得に応じて、児童扶養手当を支給した。 ・受給者数 1,892人(令和8年3月31日時点) ・年間支給額 1,089,703,530円		
今後の課題			新規対象者については制度周知に努め、受給者については現況届提出時などの面談の機会にひとり親の状況を確認し、適正な執行に努める。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	225
事業コード	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	児童扶養手当の給付				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	12
施策の方向性	3	ひとり親家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
取組	ひとり親家庭等医療費助成制度の実施				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			18歳までの児童(一部20歳未満)がいる母子・父子・養育者家庭に対し、医療費の助成を行った(所得制限あり)。 ・対象者数 延べ 57,335人 ・助成件数 75,017件 ・助成額 206,686,545円		
今後の課題			ひとり親相談や広報等の機会を捉えて制度の周知を図るとともに、安心して医療の給付が受けられるように案内を行っていく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	223
事業コード	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	ひとり親家庭等への医療費の助成				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	13
施策の方向性	3	ひとり親家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
取組	ひとり親家庭への自立支援給付事業の実施				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			母子家庭の母又は父子家庭の父が厚生労働省指定の教育訓練を受講したときに、受講料の40％又は60％の支給、さらに受講修了後1年以内に資格取得し就職等した場合に、受講料の85％の支給を行った。 (1) 自立支援教育訓練給付金 ・対象者 15人 ・支給額 6,884,205円 ➢ 母子家庭の母または父子家庭の父の就職が有利になるような資格を取得することにより生活の安定を図るため給付金の支給を行った。 (1) 高等職業訓練促進給付金 ・対象者 39人 ・支給額 39,741,000円 (2) 高等職業訓練修了支援給付金 ・対象者 12人 ・支給額 425,000円 (3) 特定高等職業訓練促進給付金 ・対象者 16人 ・支給額 6,180,000円 ➢ 最終学歴が中学校卒業であるひとり親家庭の親又は子が、高等学校卒業程度認定試験の合格に向けた講座を受講する際、受講料の一部を助成するもの。 1人につき、受講開始時40％、受講修了時30％、試験合格時30％を支給(それぞれ上限あり)。 (1) 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業給付金 ・対象者 1人 ・支給額 83,952円		
今後の課題			➢生活状況や就労に関する相談から課題を的確に把握し、ジョブスポットふじさわ等の関係機関と連携し、より安定した生活基盤を築くための就労機会の確保に向けて継続的な支援に努める。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	224
事業コード	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業 ひとり親家庭への自立支援給付金事業の実施					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	14
施策の方向性	3	ひとり親家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
取組	ひとり親家庭等日常生活支援事業の実施				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			ひとり親家庭等の方が疾病や生活環境の激変等の事由により日常生活に支障が生じた際に一定期間の家事育児支援を行った。 ・派遣時間数 延べ 22時間		
今後の課題			家庭環境等の状況を的確に捉え、必要な支援が提供できるよう努める。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	222
事業コード	57	ひとり親家庭及び養育者家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
主な具体的事業	ひとり親家庭等日常生活支援事業の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	15
施策の方向性	3	ひとり親家庭などへの支援	担当課	子育て給付課	
取組	養育費確保支援事業の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			離婚後のひとり親家庭における子どもの健やかな成長を支援するため、市内在住で、養育費の取り決めの対象となる20歳未満の子を養育しているひとり親の方を対象に、養育費の取り決めに関する公正証書等の債務名義の取得に要する費用及び、未払い養育費に係る強制執行申立てに要する費用の補助を行った。(所得制限なし、全額補助、上限あり) (1)債務名義委取得促進事業 ・対象者 34人 ・支給額 691,850円 (2)民事執行手続支援事業 ・対象者 1人 ・支給額 15,920円		
今後の課題			ひとり親相談等の機会を捉え、制度の周知・案内を行うことが必要である。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	
事業コード			担当課		
主な具体的事業	掲載なし				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	16
施策の方向性	4	ライフステージを踏まえた社会啓発の推進	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	固定的性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			講演会の開催 ・テーマ:「ジェンダー平等を考えよう～地域社会・職場で誰もが自分らしく生きるために～」 ・開催日:令和7年11月12日(水) ・講師:櫻井 彩乃 氏(一般社団法人GENCOURAGE 代表理事) ・参加者数:135人		
今後の課題			潜在的に存在する性別による役割分担意識が解消されるよう、自分事として広く一般市民に啓発していく必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	1
事業コード	1	ジェンダー平等社会の形成に向けた意識改革のためのイベント、研修の実施	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	ジェンダー平等を啓発するイベント等の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	17
施策の方向性	4	ライフステージを踏まえた社会啓発の推進	担当課	防災政策課	
取組	固定的性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			固定的役割分担意識の解消に向けて、藤沢市防災会議委員を選任する各団体に対し、ジェンダー平等の意義を示し、理解協力を求めるとともに、女性登用比率アップに向けた取組を進めた結果、委員42人中4人の女性委員の登用が図られた。		
今後の課題			藤沢市防災会議は各機関の専門家が中心となり、防災に関する重要事項を審議することから、主に各団体の役職者を中心に委員が選任されているという背景があり、女性の登用促進は容易ではない。 これまでも会議開催時や委員の変更時には、ジェンダー平等に係る資料配付とともに説明を行ってきたため、今後も継続してより女性委員の選出がしやすい環境づくりに努める必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	78 79
事業コード	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の推進	担当課	防災政策課	
主な具体的事業	地域防災計画の策定及び調整へのジェンダー平等意識の反映 藤沢市防災会議における女性の積極的登用				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	18
施策の方向性	4	ライフステージを踏まえた社会啓発の推進	担当課	災害対策課	
取組	固定的性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			国民保護協議会等については、関係機関に対して、女性委員の積極的な登用について、説明を行った。法律に基づく職務指定があるが、委員数37名のうち女性委員2名を維持した。 防災リーダー研修においては、全12地区で行われ、181人が参加しそのうち50人が女性であった。また、地域における自主防災組織の会議等で、女性視点の重要性を訴えるチラシを配布するなど、丁寧な啓発に取り組んでいる。		
今後の課題			国民保護協議会等については、法律に基づく職務指定があるため、女性委員を増やすことが難しい状況であるが、引き続き関係者に対して、ジェンダー平等・男女共同参画の意義を説明していくとともに、職務指定に関し緩和措置を検討・実施する。 今後も引続き、多様な価値観を尊重する中で、女性視点の避難所運営につきまして、研修会や訓練など様々な機会を通じて、広く市民の認識共有と意識向上を目指す。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	80 81
事業コード	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の推進	担当課	災害対策課	
主な具体的事業	防災リーダー研修、指定避難所等での運営訓練等への女性の参加促進 国民保護協議会等の委員への女性委員の登用促進				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	19
施策の方向性	4	ライフステージを踏まえた社会啓発の推進	担当課	警防課	
取組	固定的性別役割分担意識の解消に向けた啓発の推進				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			固定的役割分担意識の解消に向けて、機関員講習会をはじめ、実災害想定訓練や救助資機材取扱訓練に積極的に参加いただくとともに、様々な研修に派遣するなど、全ての消防団員に、性別に関わらず、同じ訓練機会を付与。体力差がある場合には段階的訓練で補完するなどし、経験格差をなくすことに努めた。		
今後の課題			全国の女性消防団員の活動事例や現場活躍における成功事例を積極的に共有し、消防団全体の意識の変革が必要。様々な視点から活躍の場を創出するとともに、業務の固定化を避けるため、ローテーションを大胆に進める必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	82 83
事業コード	29	自主防災組織、消防団活動の充実強化に向けたジェンダー平等の推進	担当課	警防課	
主な具体的事業	女性団員が活動しやすい環境整備の促進 研修への女性団員の参加促進				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	20
施策の方向性	4	ライフステージを踏まえた社会啓発の推進	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	育児・介護休業制度の普及促進				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			ジェンダー平等・男女共同参画に関するWeb記事「かがやけ地球」137号に、「男性保育士の存在はジェンダーレスな社会への第一歩」をタイトルとして、男性保育士に関する記事を掲載した。 ジェンダー平等・男女共同参画に関するWeb記事「かがやけ地球」138号においても、「無意識の思い込みに気づくとき～ジェンダー平等を考えよう～」の講演を聞いて」をタイトルとした、藤沢市ジェンダー平等・男女共同参画講演会に関する記事を掲載した。		
今後の課題			社会状況を踏まえた固定的性別役割分担意識の解消と近年問題になっている介護離職の防止に向けた取組を進める必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	93
事業コード	33	男性の家事、育児への参加促進	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	21
施策の方向性	4	ライフステージを踏まえた社会啓発の推進	担当課	親子すこやか課	
取組	育児・介護休業制度の普及促進				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			・妊娠届出面談時(2824人)に厚生労働省が発行するチラシ「パパになったら、まず育休！！」を全数配布。 ・マタニティクラス(妊娠から産後の生活)(年間12回657人)で厚生労働省が発行する冊子「働きながらお母さんになるあなたへ」を配架。 ・厚生労働省発行の育児時短就業給付金・出生後休業支援給付金に関するポスターを窓口近くへ掲示。		
今後の課題			母子保健事業の様々な場面で、育児・介護休業制度の普及啓発を促進していく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	94
事業コード	33	男性の家事、育児への参加促進	担当課	親子すこやか課	
主な具体的事業	両親学級(マタニティクラス)の開催				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	22
施策の方向性	4	ライフステージを踏まえた社会啓発の推進	担当課	産業労働課	
取組	育児・介護休業制度の普及促進				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			勤労ふじさわを発行し、育児、介護休業制度について紹介した。 9月号(毎月約1,700部発行)		
今後の課題			制度の内容がより現場に浸透するような周知・啓発方法の検討。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	121
事業コード	39	育児、介護休業制度の普及促進	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	1 生活上の困難に対する支援			通番	23
施策の方向性	4	ライフステージを踏まえた社会啓発の推進	担当課	高齢者支援課	
取組	家族介護教室の開催				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			高齢者等を介護している家族等を対象に、孤立防止に向けた介護者相互の交流や介護に必要な知識の習得の場を設けた。 〔委託事業の教室開催回数〕 39回 参加延べ人数 423人(うち男性115人、女性308人、その他0人) 〔市が直接実施した講演(市直営)の開催回数〕 2回 1回目:参加延べ人数 250人 2回目:参加延べ人数 77人 (※性別集計を行っていない)		
今後の課題			今後はLINEのセグメント配信等を増やすことで、より多くの市民へ周知を行い、新規層の獲得に取り組んでいく。 また、実施時のアンケート結果をふまえ、講演内容を検討し、より多くの市民の方の参加を図る。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	97
事業コード	34	男性介護への参加促進	担当課	高齢者支援課	
主な具体的事業	家族介護教室の開催				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	24
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	インターネットやSNS を活用した情報提供				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			広報「ふじさわ」11月10日号で「女性に対する暴力をなくす運動」の周知記事を掲載・配信し、相談窓口の周知を図った。 茅ヶ崎市、寒川町と連携して「デートDV防止啓発チラシ」を作成し、市内公立中学校に配布、配信した。		
今後の課題			DVは被害者がDVを受けていることを認識することが難しいケースがあるため、DVに対する気づきに向け、リーフレットやホームページなどによる情報発信や啓発の強化が必要である。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	132
事業コード	41	あらゆる暴力防止のための周知啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページを活用した啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実				通番	25
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課		
取組	DV相談窓口案内カードの配布場所の拡大					
変更事項						
年度	-			令和7年度		
取組実績				公共施設・市内商業施設等40か所のトイレへの設置、配布を行った。 市内医療機関340か所への配布を行った。 「女性に対する暴力をなくす運動」に合わせ、民生委員502人へ配布を行った。		
今後の課題				庁内外を問わず、市民が多く訪れる場所にカードを設置できるよう協力を依頼していく。		
女性支援会議からの意見						
取組の評価						
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業					通番	133
事業コード	41	あらゆる暴力防止のための周知啓発	担当課	人権男女共同平和国際課		
主な具体的事業	「DV相談窓口案内カード」の配布による相談窓口の周知					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	26
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	県や関係機関等と連携した啓発事業の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			茅ヶ崎市、寒川町と連携して「デートDV防止啓発チラシ」を作成し、市内公立中学校に配布、配信した。		
今後の課題			「デートDV防止啓発チラシ」を活用し、啓発の実施を継続していく。また神奈川県等のDV相談窓口の存在を積極的に周知していく必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	
事業コード				担当課	
主な具体的事業	掲載なし				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	27
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町2市1町で作成するデートDV防止リーフレットの配布先拡大				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			茅ヶ崎市、寒川町と連携して「デートDV防止啓発チラシ」を作成し、市内公立中学校に配布、配信した。		
今後の課題			紙媒体での配布に加え、多様な情報媒体を併用し、より効果的に周知啓発する手法を検討する。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	145
事業コード	43	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	デートDVなどの防止に向けた啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実				通番	28
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課		
取組	デートDV 防止に関する啓発講座の実施					
変更事項						
年度	-			令和7年度		
取組実績				ジェンダー平等・男女共同参画に関するWeb記事「かがやけ地球」136号において、「性暴力について知っておこう～4月は「若年層の性暴力被害予防月間」です～」をタイトルとして、性犯罪・性被害に関する相談先を紹介するとともに、身近な人が被害にあった場合の対応方法を掲載した。		
今後の課題				「若年層の性暴力被害予防月間」や「女性に対する暴力をなくす運動」などにあわせて、女性に対する暴力の根絶に向けた啓発を継続していく。		
女性支援会議からの意見						
取組の評価						
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業					通番	145
事業コード	43	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進	担当課	人権男女共同平和国際課		
主な具体的事業	デートDVなどの防止に向けた啓発					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	29
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	教育指導課	
取組	デート DV 防止に関する啓発講座の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			教育文化センターの夏の研修講座において、人権にかかわる内容の講座を複数計画・実施した。 市内55校の市立小・中・特別支援学校の人権担当の教職員に向けた「人権・環境・平和教育担当者会」でも文科省が進める「生命(いのち)の安全教育」の内容も一部盛り込んだ。		
今後の課題			デートDV防止に関する講座以外でも、人権にかかわる内容の情報を発信していく必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	149
事業コード	43	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	児童・生徒に向けたセクシュアルハラスメント(スクールハラスメント)防止及びデートDV防止に関するリーフレット等の作成・配付				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実		通番	30
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	生活援護課
取組	女性相談支援員向け研修の充実			
変更事項				
年度	-		令和7年度	
取組実績			県や市が主催する困難女性に関する研修や施設見学等11回参加した。配偶者暴力だけではなく、居住支援についての研修や、居場所などの見学を行うことで、困難な問題を抱える女性に対し、広く知見を深めることが出来た。	
今後の課題			引き続き、外部の研修も積極的に受講し、専門性向上に努める必要がある。	
女性支援会議からの意見				
取組の評価				
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業			通番	
事業コード			担当課	
主な具体的事業	掲載なし			

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	31
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	女性相談支援員向け研修の受講対象者の拡大(対象範囲を限定すべき内容の研修を除く)				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			DV相談事業をより円滑に実施するため実施する神奈川県主催の女性問題研修会について、庁内DV対応ネットワーク委員に対し情報提供を行い、2課3名が出席した。		
今後の課題			県や国等が主催する女性相談支援員向けの研修情報を共有し、DV被害者への対応力の向上を図っていく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	169
事業コード	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	職員に対する研修の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	32
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	生活援護課	
取組	女性相談支援員への定期的なヒアリングの実施などによる適切なフォローの実施				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			女性相談支援員の抱えるケースの共有のため、月に1回程度で支援方針の確認のためのヒアリングを実施した。		
今後の課題			女性相談支援員は重い相談に継続的に接するため、自身が強いストレスや二次受傷を受けやすい。 今後も継続的にケース検討会を開く等一人で抱え込まない環境づくりが必要である。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	
事業コード			担当課		
主な具体的事業	掲載なし				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	33
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	生活援護課	
取組	女性相談支援員をはじめ相談支援業務に携わる職員の心理的負担の軽減のためのアドバイザー派遣の実施				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			職員の心理的負担軽減のためのケース整理や支援方針の助言を行う等の役割は、SV(スーパーバイザー)が担った。		
今後の課題			対象者が抱える課題は、複合化・複雑化してきており、求められる役割も多岐に渡る中で、SV体制もさらなる専門性が求められる。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	
事業コード			担当課		
主な具体的事業	掲載なし				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	34
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	2市1町広域連携地域DV対応情報交換会（藤沢市及び茅ヶ崎市、寒川町の関係課並びに県、警察、児童相談所等で構成）の開催				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			8月21日に2市1町広域連携地域DV対応情報交換会を開催し、女性保護、民間団体との協働、住基支援措置等について情報交換を行った。		
今後の課題			茅ヶ崎市、寒川町と情報を共有するとともに、2市1町広域連携地域DV対応情報交換会を開催し、県、警察、児童相談所等の担当者との関係を築いていく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	165
事業コード	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	県、近隣市町村及び警察との情報共有・情報交換を通じた連携の強化				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	35
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	庁内DV対応ネットワーク会議の実務に即した体制への転換				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			令和7年度より職務指定をしない会議体に変更し、DV被害者等に関する個人情報の取扱いや被害者支援について、実務レベルでの課題を共有した。 また、庁内DV対応マニュアルの改定を行った。		
今後の課題			庁内DV対応マニュアルについて、全庁共通の様式を定めた。実務フローに影響がでないか、運用しながら調査・改善していく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	167
事業コード	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	庁内連絡会議(庁内DV対応ネットワーク会議)の開催				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	36
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	ふじさわ女性支援会議の設置				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			ふじさわ女性支援会議を新たに設置し、民間団体等から推薦された委員との情報交換等を2回(11/21、2/1)実施した。		
今後の課題			困難な問題を抱える女性への支援を適切かつ円滑に行うとともに、各委員の抱える課題などを共有し、支援者の横のつながりを築いていく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	166
事業コード	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	女性の一時保護施設等の運営やDV相談を実施している民間団体との情報交換等を通じた連携の強化				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	37
施策の方向性	1	DV被害者への相談支援と啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	DV被害者の自立支援に向けた庁内外の連携強化				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			8月21日に2市1町広域連携地域DV対応情報交換会を開催し、女性保護、民間団体との協働、住基支援措置等について情報交換を行った。		
今後の課題			2市1町で情報を共有し、県、警察、児童相談所等の担当者との関係を築いていく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	165
事業コード	48	推進体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	県、近隣市町村及び警察との情報共有・情報交換を通じた連携の強化				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	38
施策の方向性	2	性的被害防止に向けた周知啓発と犯罪被害者支援	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	内閣府が主唱して実施する「女性に対する暴力をなくす運動」をはじめ、さまざまな機会を捉えた啓発事業の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			広報「ふじさわ」11月10日号で「女性に対する暴力をなくす運動」の周知記事を掲載し、相談窓口の周知を図った。また、職員によるパープルリボンバッジ着用をとおして、暴力防止のための周知啓発に努めた。茅ヶ崎市、寒川町と連携して「デートDV防止啓発チラシ」を作成し、市内公立中学校配布・配信した。		
今後の課題			あらゆる暴力防止に向けた意識向上を図るとともに、相談窓口の周知をおこなう。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	132
事業コード	41	あらゆる暴力防止のための周知啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	39
施策の方向性	2	性的被害防止に向けた周知啓発と犯罪被害者支援	担当課	教育指導課	
取組	学校等での「生命(いのち)の安全教育」の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			児童生徒指導の担当者会において「生命(いのち)の安全教育」について講師を招いて講演および協議を行った。 文科省が作成した「生命(いのち)の安全教育」教員向け資料を市内小・中学校に情報提供を行い、活用を促した。		
今後の課題			引き続き、子供たちを性暴力の加害者、被害者、傍観者にさせないための「生命(いのち)の安全教育」について学校等で実施できるよう周知していく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	12
事業コード	6	ジェンダー平等に基づく教育課程の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	ジェンダー平等の視点に立った教材・副読本の選定				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	40
施策の方向性	2	性的被害防止に向けた周知啓発と犯罪被害者支援	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	内閣府や警察、県が開設する相談窓口の周知				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			広報「ふじさわ」11月10日号で「女性に対する暴力をなくす運動」の周知記事を掲載し、相談窓口の周知を図った。また、職員によるパープルリボンバッジ着用をとおして、暴力防止のための周知啓発に努めた。茅ヶ崎市、寒川町と連携して「デートDV防止啓発チラシ」を作成し、市内公立中学校配布・配信した。		
今後の課題			あらゆる暴力防止に向けた意識向上を図るとともに、相談窓口の周知をおこなう。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	132
事業コード	41	あらゆる暴力防止のための周知啓発	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	41
施策の方向性	2	性的被害防止に向けた周知啓発と犯罪被害者支援	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	犯罪被害者支援に係る体制の整備				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			犯罪被害者等支援条例(令和7年10月制定)に基づき、警察、県及び民間団体等と連携し、経済的支援、日常的支援等を行った。支援開始にあたり、広報ふじさわ及び市ホームページへの掲載、リーフレットの配布により周知を行った。		
今後の課題			必要となる支援は多岐に渡ることから、関係機関(警察、県及び民間団体等)及び庁内関係各課との連携を図るほか、他自治体での対応方法を参考にするなど、知識を積み重ねていく必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	
事業コード			担当課		
主な具体的事業		掲載なし			

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	42
施策の方向性	3	ハラスメントの防止と相談体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	ハラスメントの防止に向けた意識啓発の推進				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			市役所本庁舎1階ロビーでの藤沢市ジェンダー平等推進週間パネル展(6/16～6/30)において、SOGIハラスメントやアウティングがパワーハラスメントであることが記載されたポスターを掲出し、周知を図った。		
今後の課題			パネル展の実施やリーフレットの配布をとおして、ハラスメント防止に向けた意識啓発を継続していく。あわせて相談窓口の周知を実施していく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	179
事業コード	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙やホームページ等を活用した啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	43
施策の方向性	3	ハラスメントの防止と相談体制の充実	担当課	産業労働課	
取組	ハラスメントの防止に向けた意識啓発の推進				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			勤労ふじさわを発行し、ハラスメント全般について、事業主・労働者への情報提供等を行った。 5月号、10月号、12月号(毎月約1,700部発行)		
今後の課題			制度の内容がより現場に浸透するような周知・啓発方法の検討。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	54 184
事業コード	20 50	職場におけるハラスメント等防止に向けた労働関連法規の遵守についての情報提供 セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	職場におけるハラスメント防止に向けた周知・啓発 市内企業に対する啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	44
施策の方向性	3	ハラスメントの防止と相談体制の充実	担当課	職員課	
取組	ハラスメントの防止に向けた意識啓発の推進				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			全職員を対象に「ハラスメントのない職場づくりを目指して～今日からできる職場のハラスメント対策～」をテーマに研修を実施し、周知・啓発を行った。(e-ラーニング) 管理職向けに「職場のメンタルヘルスとハラスメント防止」について資料研修を実施した。 新採用職員向けに「職員としての健康管理」としてハラスメント防止を含む内容の研修を実施した。		
今後の課題			ハラスメントを生じさせない職場風土の形成のため、引き続きハラスメント防止に向けた研修を各階層で実施するとともに、研修内容を充実させていく必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	180
事業コード	50	セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	職員課	
主な具体的事業	市職員に対するハラスメントの防止に向けた周知・啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	45
施策の方向性	3	ハラスメントの防止と相談体制の充実	担当課	教育指導課	
取組	ハラスメントの防止に向けた意識啓発の推進				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを作成・配付し、各校において学年によらず必要に応じて活用するよう周知した。 市内校長会を通して、神奈川県教育委員会が作成したハラスメント防止に関する資料を配付し、教職員への意識啓発を図った。		
今後の課題			今後もハラスメントの未然防止のため、各種研修会や担当者会、事故防止会議等を活用し、教職員自身がハラスメントについて理解を深められるよう情報発信を続ける必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	149 193
事業コード	43 50	子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進 セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	児童・生徒に向けたセクシュアルハラスメント(スクールハラスメント)防止及びデートDV防止に関するリーフレット等の作成・配付 セクシュアルハラスメント(スクールハラスメント)の防止に向けた周知・啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	46
施策の方向性	3	ハラスメントの防止と相談体制の充実	担当課	教育指導課	
取組	スクールハラスメントの防止に向けた周知・啓発の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			小学校4年生、中学校1年生を対象にセクシュアル・ハラスメント等防止リーフレットを作成・配付し、各校において学年によらず必要に応じて活用するよう周知した。また、教育委員会のホームページに掲載したり、人権・環境・平和教育担当者会でも紹介したりするなど、広く周知に努めた。		
今後の課題			今後も学校におけるハラスメントについて分かりやすく情報提供するため、リーフレットの内容等については、検討していく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	15 149 193
事業コード	7 43 50	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進 子ども・青少年に対する暴力を認めない社会づくりへの理解促進 セクシュアルハラスメントや虐待の防止に向けた意識啓発・相談の充実	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	スクールハラスメントの防止・啓発 児童・生徒に向けたセクシュアルハラスメント(スクールハラスメント)防止及びデートDV防止に関するリーフレット等の作成・配付 セクシュアルハラスメント(スクールハラスメント)の防止に向けた周知・啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	47
施策の方向性	3	ハラスメントの防止と相談体制の充実	担当課	産業労働課	
取組	社会保険労務士による労働相談の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			社会保険労務士による労働相談を行った(火:市民相談情報課、土:Fプレイス) なお、毎月第2土曜日は女性の社会保険労務士が相談に対応し、女性の労働相談体制の充実を図った。 98回実施、相談人数延べ247人(うち女性140人) 加えて、かながわ労働センター湘南支所及び社会保険労務士会と街頭労働相談を実施した。 実施日:辻堂駅5月27日・藤沢駅6月26日・辻堂駅10月28日・湘南台駅11月27日 相談人数延べ409人(うち女性247人)		
今後の課題			引き続き関係機関と連携し、相談体制の確保に努め、より利用しやすい実施方法などの検討が必要と考える。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	55 56
事業コード	21	女性の労働相談体制の充実	担当課	産業労働課	
主な具体的事業	一般労働相談の実施 街頭労働相談会の開催				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	2 女性に対する暴力の根絶と被害者支援の充実			通番	48
施策の方向性	3	ハラスメントの防止と相談体制の充実	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	人権擁護委員による人権相談の実施				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			藤沢市人権啓発講演会や人権メッセージパネル展の実施、人権啓発リーフレットの作成・配布を行った。また毎週金曜日に人権擁護委員による人権相談を実施した。		
今後の課題			市民に対し人権相談を知っていただくための周知方法の検討と適切な開催回数への見直しを行う。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	23
事業コード	11	人権施策の総合的な推進	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	人権教育及び人権啓発に関する施策の推進				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進				通番	49
施策の方向性	1	生涯にわたる女性の健康支援		担当課	健康づくり課	
取組	女性特有の健康課題（更年期等）に関する健康教育や相談事業の実施					
変更事項						
年度	－			令和7年度		
取組実績				【健康教育の実施】3回 14人 ・六会「知っておきたい私の健康」6人 ・御所見「女性の健康づくり」3人 ・マドンナの会「女性の体を知ろう」5人 【生涯を通じた女性の健康づくり講座】4回 46人 ①上質なたんぱく質のとり方 （20歳～）骨密度測定＋栄養講義9人 ②効果的なカルシウムのとり方 （20歳～）骨密度測定＋栄養講義9人 ③骨と筋肉を強くする運動（40～60歳）女性のライフサイクルについて講義＋運動実習13人 ④骨と筋肉を強くする運動（年齢制限なし）骨密度測定＋運動実習15人		
今後の課題				女性の健康教育について、参加者数は対象者数に対して半数程度であったが、アンケート結果から内容に対する満足度は高く、事業への評価が得られた。今後は、女性が参加しやすい時間帯の設定や効果的な周知方法について検討をすすめ、参加者数の増加に努めていく。		
女性支援会議からの意見						
取組の評価						
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業					通番	255
事業コード	62	生涯を通じた女性の健康づくり		担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	生涯を通じた女性の健康教育・相談の実施					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進				通番	50
施策の方向性	1	生涯にわたる女性の健康支援		担当課	健康づくり課	
取組	年齢に応じたがん予防の普及啓発					
変更事項						
年度	－			令和7年度		
取組実績				【女性特有のがん(乳がん・子宮がん)に焦点をあて、啓発を実施】 ・リーフレット「あなたに受けてほしい♡女性のためのがん検診」の配布 1歳6か月児健康診査の通知に同封 ・大切なご自身やご家族のために～プレストアウェアネス～ 2歳児歯科健診の通知に同封 【ピンクリボン月間の取組】 ・総合市民図書館、市役所本庁舎ラウンジに展示 ・市内本屋にチラシとポスターの掲示、乳がんに関連する図書の展示を依頼 ・広報、健康ナビ、レディオ湘南での周知啓発 ・辻フェス秋のピンクリボンフェスに出展 【乳がんについての講演会】 「今聞いてほしい 乳がんの基本」会場参加者 22人 アーカイブ配信申込者31人		
今後の課題				周知啓発事業については、その効果を直接的に把握することが難しい。紙媒体による周知啓発については、SNS等のデジタル媒体を活用し、周知方法の見直しを進めていきたい。		
女性支援会議からの意見						
取組の評価						
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業					通番	253
事業コード	62	生涯を通じた女性の健康づくり		担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	女性特有のがんに関する意識啓発					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	51
施策の方向性	1	生涯にわたる女性の健康支援	担当課	親子すこやか課	
取組	妊産婦健康診査費用の助成				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			・妊婦健康診査 延べ33,032人 (多胎追加妊婦健康診査19件含む) ・産婦健康診査 (2週間)延べ1,820人 (1か月):延べ2,541人		
今後の課題			安心して妊婦健康診査が受けられるよう、妊婦の負担軽減に向けた制度の内容について検討する。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	250
事業コード	61	障がいの早期発見と健康管理体制の充実	担当課	親子すこやか課	
主な具体的事業	妊婦健康診査の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	52
施策の方向性	1	生涯にわたる女性の健康支援	担当課	親子すこやか課	
取組	マタニティクラスの実施				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			・食事と歯の健康コース 12回160人 ・妊娠から産後の生活コース 12回657人 ・ホームページ動画配信視聴数 189回		
今後の課題			「妊娠期から産後の生活コース」では、妊娠・出産・育児に関する知識や夫婦（家族）で協力し子育てができるよう支援をするとともに、定員を超える参加申込がある状況が続いているため、回数や定員、内容等教室を工夫し支援していくことが必要。妊婦の妊娠期とその後の子育てを共にする夫・パートナーへの支援についても、食生活や口腔保健の改善を含めた検討を行う必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	239
事業コード	61	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実	担当課	親子すこやか課	
主な具体的事業	両親学級（マタニティクラス）の開催				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進				通番	53
施策の方向性	1	生涯にわたる女性の健康支援		担当課	親子すこやか課	
取組	産前・産後支援の実施					
変更事項						
年度	-			令和7年度		
取組実績				こんにちは赤ちゃん事業 生後4か月までのすべての産婦と乳児を対象として、生後4か月までに保健師、助産師、看護師が家庭訪問を実施。 実施数:2,603件 (出生数2,600件、実施率100、1%)		
今後の課題				妊産婦及び新生児、乳児の健康を守るため必要な保健指導を行うとともに、核家族化や地域コミュニティの希薄化により、孤立育児(孤育て)となってしまう家庭もある中、どのように地域や支援につなげていくかが課題である。また、産まれた児の健康だけではなく、父母の産後うつや早期発見、産婦や家族の健康などをアセスメントし、必要なサポートにつなげる必要性があり、母子保健事業内において継続的かつ一貫したプレコンセプションケアの視点が必要である。		
女性支援会議からの意見						
取組の評価						
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業					通番	240
事業コード	60	健やかな妊娠・出産や育児のための支援の充実		担当課	親子すこやか課	
主な具体的事業	こんにちは赤ちゃん事業の実施					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	54
施策の方向性	1	生涯にわたる女性の健康支援	担当課	健康づくり課	
取組	骨粗しょう症予防の普及啓発の充実				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			【イベント】 ・骨と関節のフェスティバルの実施 骨密度測定・整形外科相談・女性医による健康相談の実施 参加者数137人(男性20、女性116人、不明1人) ・第20回 長後子育てメッセ 骨密度測定53人(男性10人、女性43人) 【生涯を通じた女性の健康づくり】(再掲) ①上質なたんぱく質のとり方 (20歳～) 骨密度測定＋栄養講義9人 ②効果的なカルシウムのとり方 (20歳～) 骨密度測定＋栄養講義9人 ③骨と筋肉を強くする運動(40～60歳) 女性のライフサイクルについて講義＋運動実習13人 ④骨と筋肉を強くする運動(年齢制限なし) 骨密度測定＋運動実習15人		
今後の課題			骨密度測定への希望者が多く、市民の関心が高いことがうかがえた。イベントへの参加者は50代以上であり、若い世代への周知方法の工夫が必要である。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	255
事業コード	62	生涯を通じた女性の健康づくり	担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	生涯を通じた女性の健康教育・相談の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3	生涯にわたる健康づくりと性の理解促進	通番	55
施策の方向性	2	女性特有の心身の変化や不調への対応	担当課	人権男女共同平和国際課
取組	ユースクリニックなどの民間団体や企業との連携・協働による多様な支援の確保			
変更事項				
年度	-		令和7年度	
取組実績			性に関わる悩みを電話やLINEを使って気軽に相談できる窓口として、神奈川県「性と健康の相談センター」が実施している「妊娠SOSかながわ」の周知をおこなった。	
今後の課題			女性にとって質の高い生活を実現するため、適切な相談窓口を案内できるよう情報収集と発信をおこなう。	
女性支援会議からの意見				
取組の評価				
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業			通番	
事業コード			担当課	
主な具体的事業		掲載なし		

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	56
施策の方向性	2	女性特有の心身の変化や不調への対応	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	女性がより安心して活躍できる環境づくりに向けたフェムテックをはじめとするさまざまな技術や取組に関する情報収集や普及促進				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			女性のウェルビーイングの実現に向け、先進的な取り組みに関する情報収集を実施した。		
今後の課題			女性特有の健康課題を改善するため、引き続き情報収集を行いWeb記事「かがやけ地球」などを通して周知を図っていく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	6
事業コード	3	ジェンダー平等に関する情報収集と提供	担当課	人権男女共同平和国際課	
主な具体的事業	情報紙の発行やホームページ等での情報提供				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	57
施策の方向性	2	女性特有の心身の変化や不調への対応	担当課	人権男女共同平和国際課	
取組	民間企業との連携による無料生理用ナプキンディスペンサーの市役所等への設置をはじめとするジェンダーギャップ解消に向けた取組の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			女性の健康と尊厳の視点から、生理に伴う負担の軽減を目的として、無料生理用ナプキンディスペンサー「OiTr（オイテル）」を市役所本庁舎1階及び3階の女性用個室トイレに設置し、無料で生理用ナプキンを提供している。		
今後の課題			現在設置されている生理用品ナプキンディスペンサーは、協定により無料で運用されている。将来に渡り持続可能な提供体制の構築に向け、手法の検討が必要となっている。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	
事業コード				担当課	
主な具体的事業		掲載なし			

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	58
施策の方向性	3	こころの健康とレジリエンスを高めるための取組	担当課	保健予防課	
取組	こころの健康に関する普及啓発や情報提供				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			一般市民を対象とした普及啓発事業として、「スマホから始まるギャンブル依存」をテーマに市民講演会(対面開催:47人参加、オンデマンド配信:88人申込、視聴回数103回)、「大人の発達障がい」をテーマに精神保健福祉公開講座(参加者74人)をそれぞれ開催したほか、地域や職域でメンタルヘルスの問題を抱える人に対してできる範囲で手助けをする心のサポーター養成講座(年2回、参加者延べ112人)や世界メンタルヘルスデーに合わせてパネル展示を実施した。また、女性当事者の会としてマドンナの会(年12回、参加者延べ27人)を開催した。		
今後の課題			近年、精神疾患患者数は高水準・増加傾向で推移しており、いつ誰に、こころの不調が起こってもおかしくない状況である。一般市民を対象とした普及啓発活動は今後も継続し、精神保健に関する理解促進に努めていく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	267
事業コード	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	保健予防課	
主な具体的事業	精神障がい者の地域生活支援の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	59
施策の方向性	3	こころの健康とレジリエンス7を高めるための取組	担当課	保健予防課	
取組	いのちを支える自殺対策の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			普及啓発事業として「若者の自傷行為とオーバードーズ」をテーマに自殺対策講演会を実施した(申込者数178人、動画再生数385回)。その他、自殺対策事業として、自殺未遂者・家族個別支援事業(自殺予防電話相談まごころホットライン)、うつ病当事者・家族支援事業(こころの健康セミナー)、メンタルチェックシステム「こころの体温計」等を実施した。		
今後の課題			近年、こどもの自殺者数は増加傾向が続いており、国は、自殺対策基本法を改正、令和8年4月に施行したところである。これを受け本市においても、協議会の設置検討など、こどもの自殺対策を強化していく必要がある。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	266
事業コード	63	ライフステージに応じた健康管理と健康づくり	担当課	保健予防課	
主な具体的事業	いのちを支える自殺対策の実施				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	60
施策の方向性	4	性に対する理解の促進	担当課	教育指導課	
取組	スクール・セクハラ防止リーフレットの配布				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			セクシュアル・ハラスメント防止リーフレットとして、小学校4年生用「楽しい学校生活を送るために」、中学1年生用「STOP！！スクール・セクハラ／デートDV／SNS等を通じた被害」を作成し、データで配付した。各校において対象学年によらず必要に応じて広く活用するよう周知した。		
今後の課題			今後も学校におけるハラスメントについて分かりやすく情報提供するため、リーフレットの内容等については、検討していく。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	15
事業コード	7	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	スクールハラスメントの防止・啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	61
施策の方向性	4	性に対する理解の促進	担当課	教育指導課	
取組	正しい性の理解や性の相談窓口などの情報提供の強化				
変更事項					
年度	－		令和7年度		
取組実績			セクシュアル・ハラスメント防止リーフレットに学校以外の相談窓口を記載し、周知した。		
今後の課題			小学校体育科の保健領域や、中学校保健体育科(保健分野)等の様々な場面において、男女の心身、互いの性などについて理解を深められるよう、情報提供に努める。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	149
事業コード	7	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	教育指導課	
主な具体的事業	スクールハラスメントの防止・啓発				

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進				通番	62
施策の方向性	4	性に対する理解の促進		担当課	健康づくり課	
取組	性と健康の相談センターにおける相談の実施					
変更事項						
年度	－			令和7年度		
取組実績				・思春期講演会 12/22「どう伝える？思春期のこどもへの性教育」昭和医科大学 教授 上田邦枝氏 参加者：オンライン開催（当日参加22人、アーカイブ12/26-1/12配信223人） ・思春期保健教育20校（小学校1校・中学校17校・高校2校）3194人 ・教育媒体貸出 1校（赤ちゃん人形1体、妊婦体験ジャケット4着） ・思春期保健相談 年間8件（本人7件、母1件）に対応。全て男性からの悩み相談で、相談内容は、性に関すること7件、成長に伴う性機能3件、妊娠・避妊2件、体・病気1件、その他1件。（R5年度3件、R6年度3件）		
今後の課題				成育医療等基本方針（令和5年3月改定）に基づき、プレコンセプションケア推進体制の整備に継続して取り組む。また、相談者が気軽に性や健康・妊娠に関する悩みを相談できるよう、保健師等による匿名相談を引き続き実施するとともに、今後は若者を支援する関係機関とも連携する。相談者が若い世代である場合、その親も重要な役割を果たしている場合があり、親自身の理解の促進や悩みの解消に繋げるため、親世代に向けた性や健康・妊娠に関する知識や相談窓口について周知や広報啓発を行うことが必要。		
女性支援会議からの意見						
取組の評価						
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業					通番	255
事業コード	62	生涯を通じた女性の健康づくり		担当課	健康づくり課	
主な具体的事業	生涯を通じた女性の健康教育・相談の実施					

ふじさわ女性支援計画 進捗管理シート

重点目標	3 生涯にわたる健康づくりと性の理解促進			通番	63
施策の方向性	4	性に対する理解の促進	担当課	親子すこやか課	
取組	思春期保健教育・相談の実施				
変更事項					
年度	-		令和7年度		
取組実績			・思春期講演会 12/22「どう伝える？思春期のこどもへの性教育」昭和医科大学 教授 上田邦枝氏 参加者：オンライン開催(当日参加22人、アーカイブ12/26-1/12配信223人) ・思春期保健教育20校(小学校1校・中学校17校・高校2校)3194人 ・教育媒体貸出 1校(赤ちゃん人形1体、妊婦体験ジャケット4着) ・思春期保健相談 年間8件(本人7件、母1件)に対応。全て男性からの悩み相談で、相談内容は、性に関すること7件、成長に伴う性機能3件、妊娠・避妊2件、体・病気1件、その他1件。(R5年度3件、R6年度3件)		
今後の課題			成育医療等基本方針(令和5年3月改定)に基づき、プレコンセプションケア推進体制の整備に継続して取り組む。また、相談者が気軽に性や健康・妊娠に関する悩みを相談できるよう、保健師等による匿名相談を引き続き実施するとともに、今後は若者を支援する関係機関とも連携する。相談者が若い世代である場合、その親も重要な役割を果たしている場合があり、親自身の理解の促進や悩みの解消に繋げるため、親世代に向けた性や健康・妊娠に関する知識や相談窓口について周知や広報啓発を行うことが必要。		
女性支援会議からの意見					
取組の評価					
ふじさわジェンダー平等プラン2030 における主な対応事業				通番	17
事業コード	7	心身の発育・発達と性に関わる教育の推進	担当課	親子すこやか課	
主な具体的事業		思春期保健指導の実施			